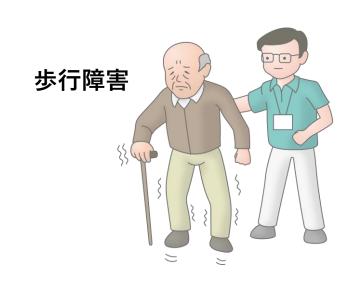
正常圧水頭症センター (NPHセンター)

Q. 正常圧水頭症(NPH)センターとは?

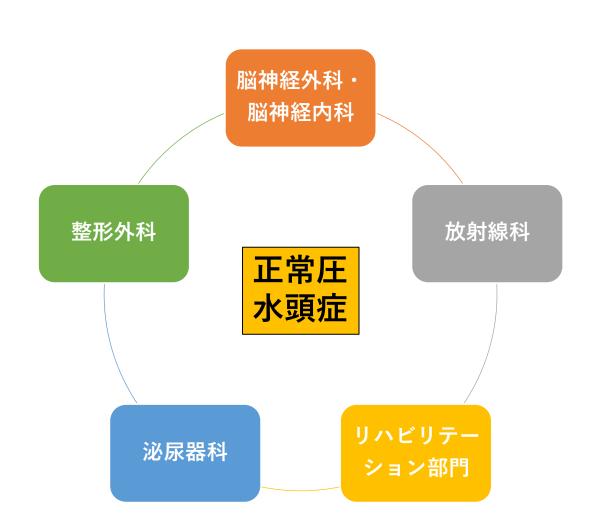
- 高齢になると、次第に歩くのが遅くなり、歩幅が小刻みになったり、すり足のような歩き方になる場合があります。このような**歩行障害**に、**物忘れ**や無気力、あるいは頻尿・尿漏れ(尿失禁)などの症状が加わってくることがあります。
- これらは高齢者ではよく見られる症状であり、いろいろな病気で起こりますが、そのなかに、「特発性正常圧水頭症(iNPH)」という病気があります。iNPHは、頭の中の水(髄液)の流れが悪くなって起こります。「髄液シャント術」という手術をすることによって、歩行障害、認知障害、尿失禁などの症状が良くなります。







 正常圧水頭症(NPH)センターでは、脳神経外科だけではなく、整形外科、泌尿器科、 精神科、リハビリテーション部門、神経内科、その他診療科の専門医による多角的な面からの診断→検査→手術が可能です。





似ている病気(合併する場合あり)

歩行障害

- パーキンソン病
- パーキンソン症候群
- 頚部・腰部脊柱管狭窄症
- ・末梢性めまい
- 下肢筋力低下、フレイル
- 脊髄小脳変性症
- 進行性核上性麻痺
- 大脳皮質基底核変性症
- 多系統萎縮症 など

認知障害

- アルツハイマー型認知症
- レビー小体型認知症
- 皮質下性血管性認知症
- 前頭側頭葉型認知症
- アルコール性脳障害
- ビンスワンガー型白質脳症
- うつ状態・うつ病
- 自立神経失調症 など

排尿障害

- 過活動性膀胱
- 夜間頻尿症
- 前立腺肥大症(男性)
- 泌尿器科系疾患 など

検査・治療の流れ「リハビリテーション部門で評価

1)外来検査



2タップ

テスト



③髄液シャン 卜手術

- ・採血(*ビタミン、甲状腺機能など)
- ・心雷図
- ・胸部・腰椎レントゲン
- ・頭部CT (冠状断も)
- 頭部MRI · MRA
- ・全脊椎MRI
- *脳血流シンチグラフィー
- *心筋シンチグラフィー
- *ダットスキャン
- *他疾患との鑑別、併存症の治療 (他科コンサルト)
 - *はオプション

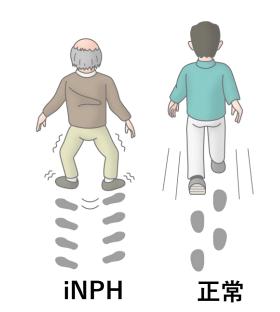
3日間入院

- ・透視下タップテスト
- ・髄液検査
- ・前・翌日・翌々日に 理学療法士による TUG (3 m往復歩行テスト) MMSE(認知機能テスト)

7日目に外来で TUG · MMSE

10日間入院

シャント手術(全身麻酔)

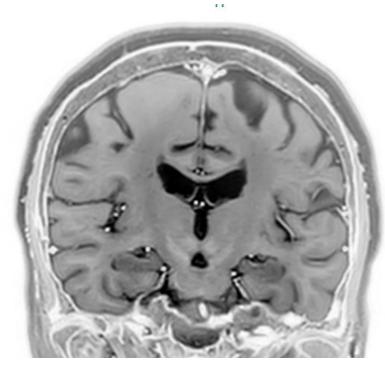


頭部MRI·MRA検査

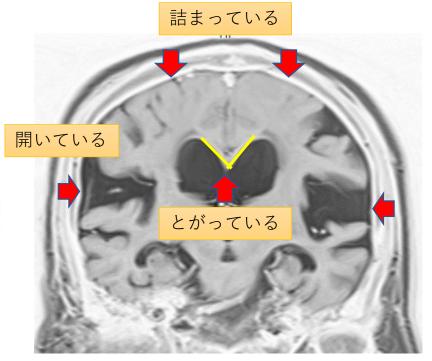
最新の3テスラMRIを使って、iNPHに特徴的な画像所見について検査します。

典型的な例では、脳室の拡大とともに、頭のてっぺん(高位円蓋部)が詰まった様に見えます。これに対して脳萎縮では、脳のしわ(脳溝)に隙間が見られます。また、脳梗塞や脳の血管の病気(動脈瘤や狭窄など)を合併していないかを診断します。

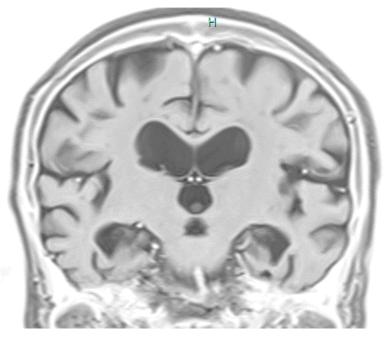
さらに、当院では、海馬(記憶をつかさどる場所)周囲の萎縮程度をみて、アルツハイマー型認知症の合併も診断できます。



正常(70歳代)



特発性正常圧水頭症

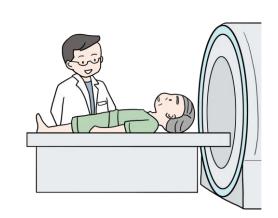


アルツハイマー型認知症

全脊椎MRI検査

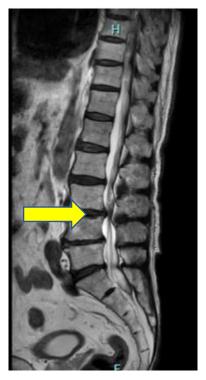
iNPHで起こる歩行障害や排尿障害の原因に、頚部や腰部の脊柱管狭窄症を合併している場合が多く見られます。また、腰部からシャント手術を行う場合には、腰部の脊柱管狭窄があると手術が困難だったり、術後に下肢の痛みが出現する場合があります。

それらを見逃さないために、全脊 椎MRIを行っています。



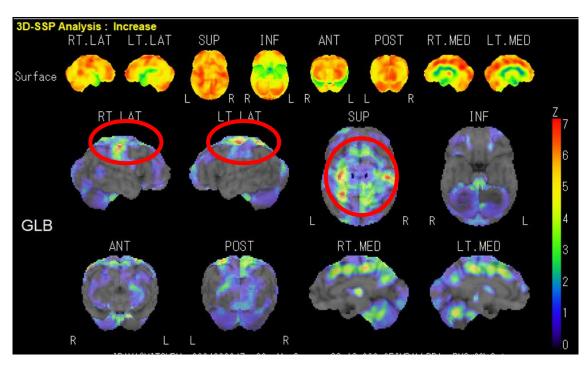


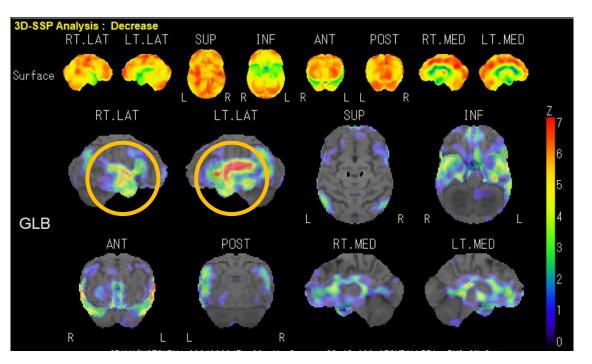




脳血流 SPECT (認知症の診断目的)

SPECT検査では、MRIではわからない脳の血流状態を見ることができます。脳の機能が低下している部分は、脳の血流が低下しています。脳血流のパターンの違いによって、特発性正常圧水頭症、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などの診断を補助します。





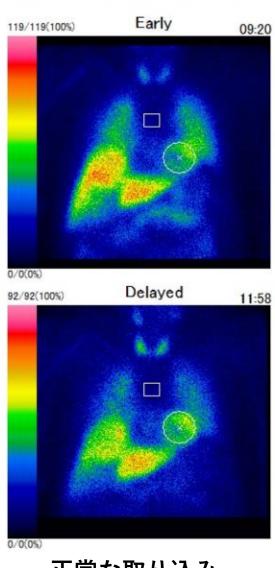


血流増加部位:カッパーサイン

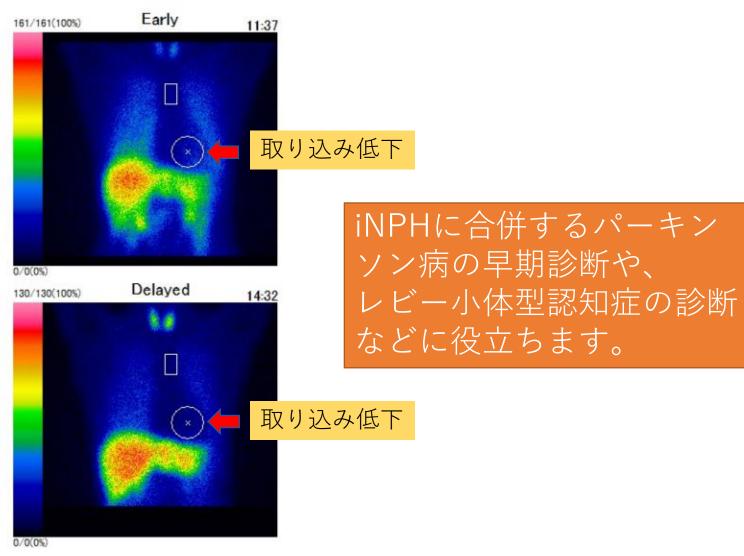


血流低下部位:チェックマークサイン

心筋シンチグラフィー

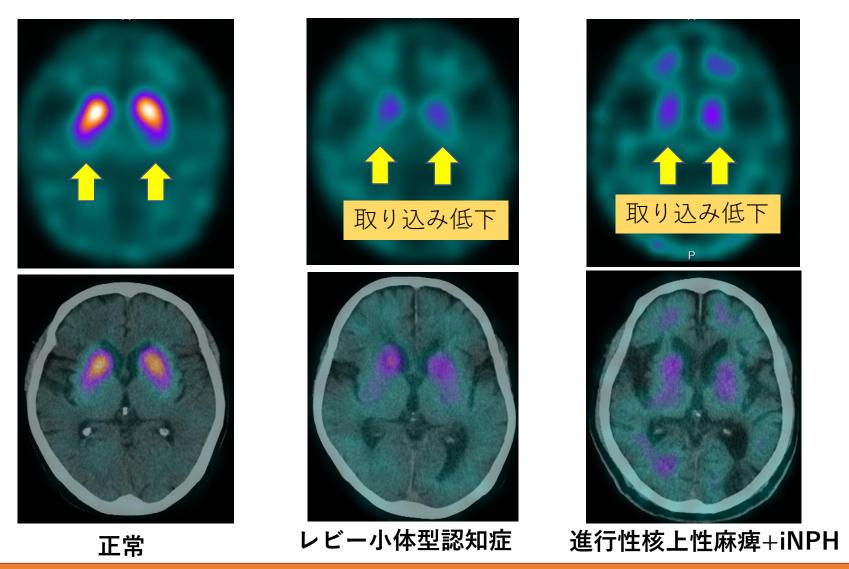


正常な取り込み



パーキンソン病・ レビー小体病の疑い

ダットスキャン



iNPHに合併するパーキンソン症候群(類縁疾患)の早期診断や、レビー小体型認知症の診断などに役立ちます。

タップテストとは、背骨から、比較的細い針で髄液を抜く (腰椎穿刺)検査です。髄液を30ccほどゆっくりと抜きます。 早い人では、この検査から1時間後に歩きやすくなるという 変化がみられます。検査の翌日に歩きやすくなる人もありま す。この変化は、1日だけで元に戻ってしまう人もあれば、 長く続く人もあります。また、話し方がはっきりしてきた、 尿漏れがなくなったなどの変化が、検査後数日から1週間程 度たってからみられることもあります。

タップテストで症状が改善した人は、<u>髄液シャント術</u>での症状の持続的な改善が期待できます。タップテストで効果がみられない場合には、1.経過を見る、2.再度タップテストを行う、3.ほかのテストを行うの3つの選択肢があります。







iNPH のスケール

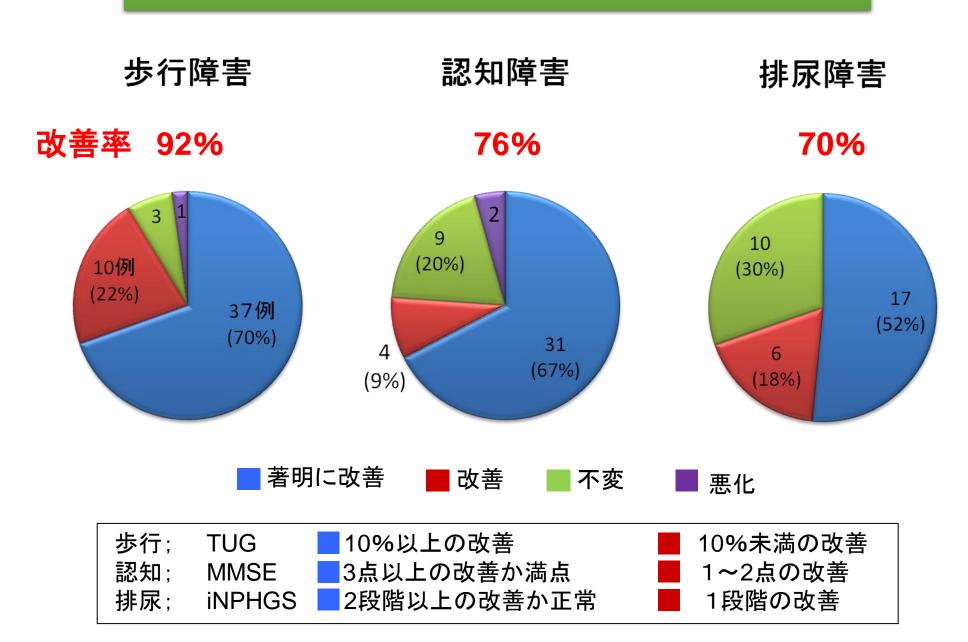
軽度

	重症度	歩行障害	認知障害	排尿障害
	0	正常	正常	正常
	1	ふらつき,歩行障害の自覚のみ	注意・記憶障害の自覚のみ	頻尿,または尿意切迫
	2	歩行障害を認めるが、補助器具	注意・記憶障害を認めるが、時	ときおりの尿失禁(1~3回/
		(杖,手すり,歩行器)なしで自 立歩行可能	間・場所の見当識は良好	週以上)
	3	補助器具や介助がなければ歩行 不能	時間・場所の見当識障害を認める	頻回の尿失禁(1回/日以上)
,	4	**	投資に対する日本業は会さない	
	4	歩行不能	状況に対する見当識は全くない、 または意味ある会話が成立しない	膀胱機能のコントロールがほ とんどまたは全く不可能

重度

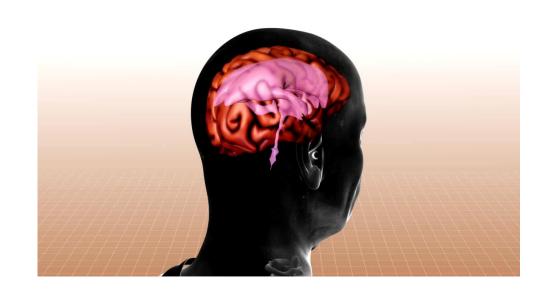
iNPHを治療しないと、徐々に症状が進行します!

当院でのシャント手術後の改善率



正常圧水頭症の治療

髄液シャント手術 (イメージ)

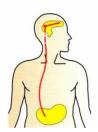


腰椎ー腹腔シャント (L-Pシャント)





脳室ー腹腔シャント (V-Pシャント)



このような症状があれば・・・

熊本市民病院 正常圧水頭症センター にご相談ください。

TEL: 096 (365) 1606

(患者サポートセンター直通)

